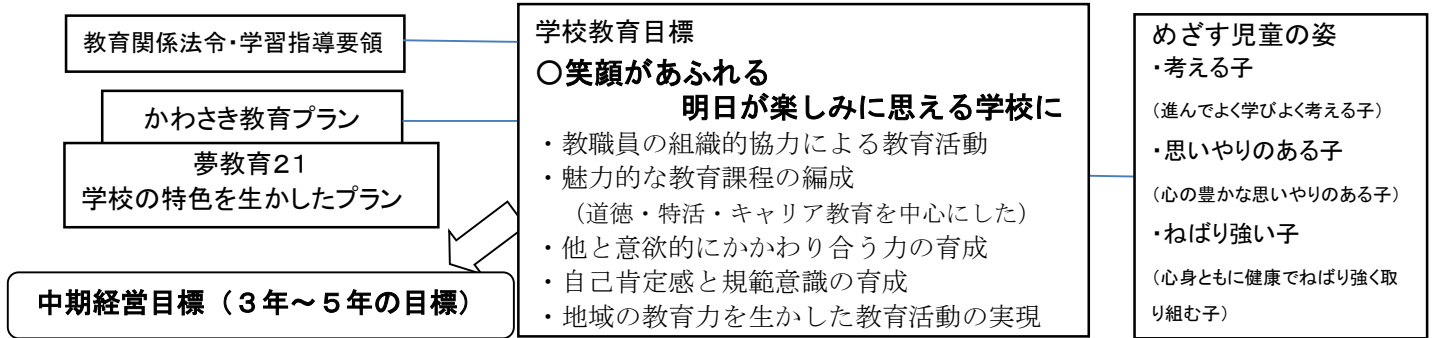


令和6年度 川崎市立南百合丘小学校 学校経営計画



- 「相手のことを考えて話せる子 相手の思いを受け止めながら聴ける子」を全教育課程の目標とし、児童の主体性と協働する心を育成していく。
- いじめや暴力は許さないという学校環境を構築するとともに、人権意識を高められるような道徳教育を実践していく。
- 自らの健康に関心が向く保健指導の充実と、進んで運動する楽しさを味わえるような体育学習の充実を図る。
- 主体的に判断・行動をし、協働して課題や活動に取り組める力を育成する。
- 自らのキャリア発達に生かせるようなキャリア在り方生き方教育を実践していく。

短期経営目標 (今年度の重点方針)

<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標を実現するためのカリキュラムマネジメントに努める。 ○「聴いて考えてつなげる」授業を教育課程のすべてで行い、その基盤となる対話の力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校スタンダードについて教職員が共通認識をもち児童指導を行い児童が自ら考える活動を重視することで規範意識の育成を図る。 ○自分や人のよさ、違いを互いに認め合い大切にしようとする気持ちを育てる。 ○情報モラル道徳教育推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会活動をはじめ、学級での係活動や当番活動をする喜びを感じさせ、自主的・自発的な行動力を養う。 ○児童会や実行委員会活動を計画的に行い、機能をより有効に生かす。 ○委員会活動で児童主体の計画を実現していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の身体に関心を持ち健康な体づくりができるようにする。 ○学校生活全般において、児童の体力の維持・向上へとつながるきっかけをつくる。
--	--	---	---

★重点方針にかかる具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ①学校経営方針をもとに各学年の経営計画を作成し、児童の実態に沿った効果的な教育活動を行う。 ②全教科を通じて、「相手のことを考えて話せる子相手の思いを受け止めながら聴ける子」を基盤にした「聴いて考えてつなげる」授業を行う。 ③各教科等の資質・能力を育成するような授業づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童に自ら考えさせることを繰り返すことで、相手の気持ちや状況などを考えて判断して行動できる力を育てていく。 ②各教科や様々な活動を通して教師が、児童の相手を思いやる言葉がけや行動を認め価値づけていく。 ③家庭との共通理解を図るために、保護者への啓発活動を継続的に推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校経営方針や学年目標をもとに各行事で学年・学級の目指す児童の姿を具体化していく。 ②教師主導ではなく、児童の主体的な活動を推進するために学びの場を確保していく。 ③すべての教育活動を児童が自分事として受け止め実践できるよう、全職員が一体となり協働する力を価値づけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①養護教諭、栄養教諭と協力して規則的な生活習慣、病気やけがの予防について指導をする。 ②体育の教科において授業を通して継続的に視点を決めて体力向上につながる体の動きを取り入れていく。
---	---	---	--